

# 「令和3年度 全国学力・学習状況調査」の結果について

【富里第一小学校】

令和3年5月27日（木）に、小学校第6学年全児童，中学校第3学年全生徒を対象として、「全国学力・学習状況調査」が実施されました。本校の結果についてお知らせします。

## 1 児童が受けた調査について

「国語」，「算数」，「児童に対する質問紙調査」の調査が実施されました。それぞれの内容は下記のとおりです。

### 教科に関する調査

- (1) ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や，実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等  
②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や，様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

※出題範囲：原則として調査する学年の前学年までに含まれる指導事項

### 質問紙調査

学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する質問紙調査

\*調査問題は「国立教育政策研究所」のHPで閲覧できます。

<http://www.nier.go.jp/21chousa/21chousa.htm>

## 2 本市児童の調査結果

本市児童の調査結果及び分析は以下のとおりです。

### (1) 教科の正答率について (※ 全国公立小学校の平均正答率 (以下全国平均) との比較)

国語	学習指導要領に示されている内容に基づく。 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 (2) 情報の扱い方に関する事項 (3) 我が国の言語文化に関する事項 〔思考力，判断力，表現力等〕 A 話すこと・聞くこと B 書くこと C 読むこと	C
算数	学習指導要領第2章第3節算数における，「数と計算」，「図形」，「測定」，「変化と関係」，「データの活用」の各領域に示された指導内容からバランスよく出題	C

☆ 全国平均正答率との比較について

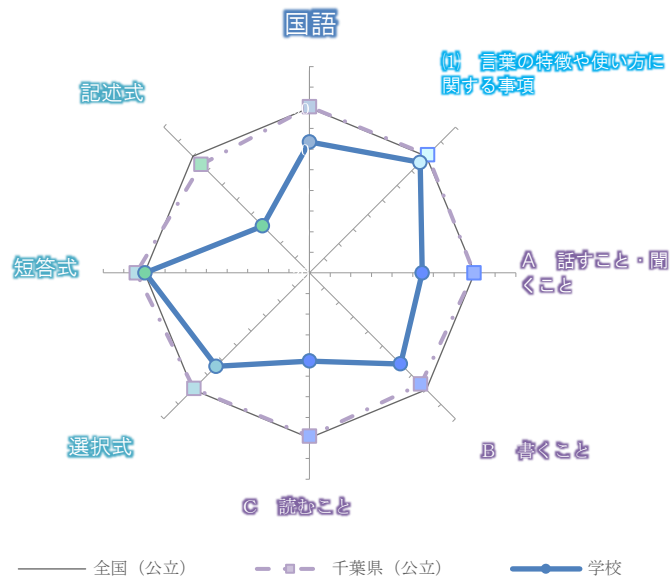
A：+5.0%より上回っている場合「良好」

B：+5.0%～-5.0%の場合「ほぼ同じ」

C：-5.0%より下回っている場合「要改善」

## (2) 教科ごとの分析

### 国語



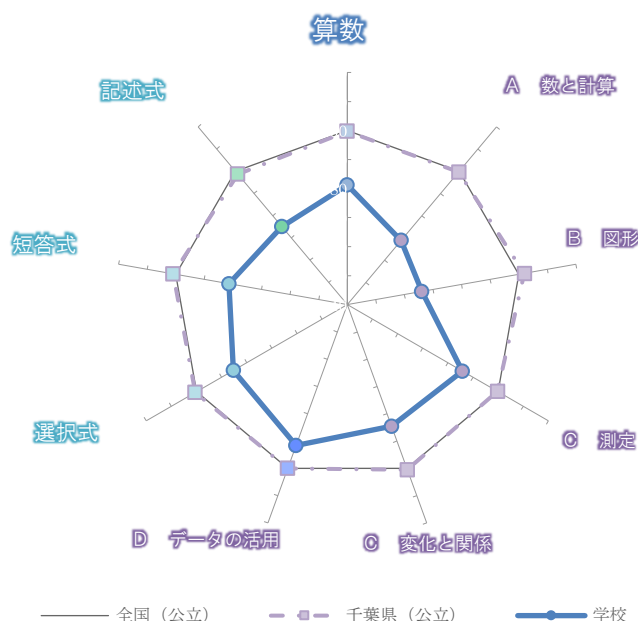
#### 【特徴と現状】

- 全体の結果は、全国平均と比較して、正答率が大幅に下回っています。
- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域は、全国平均と比較して、やや下回っています。
- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域すべてが、全国平均を下回っています。特に、「読むこと」の領域は大幅に下回っています。
- 短答式の問題は、全国平均とほぼ同じです。
- 選択式の問題は、全国平均を下回っています。
- 記述式の問題は、全国平均を大幅に下回っています。
- 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することに課題があります。

#### 【改善方策等】

- ドリルタイムを実施し、基礎問題の確実な定着を図ります。
- 「書くこと」については、課題に対して筋道を立て論理的に考える活動、自分の考えを順序立てて文章構成する活動、そして自分の考えを適切な言葉を使って表現する活動などを、様々な教科、場面において積極的に取り入れることで、文章表現力の向上を図っていきます。
- 「話すこと・聞くこと」については、目的に応じて話し合ったり、話し手の意図を理解したりする指導を取り入れていきます。
- 「読むこと」については、図書、新聞をはじめとする、様々な文章を読んだり、活用したりする機会を増やし、向上を図ります。
- 記述式の問題で、自分の考えをしっかりと言葉で書けるように、表現する活動を意図的に取り入れていきます。

## 算 数



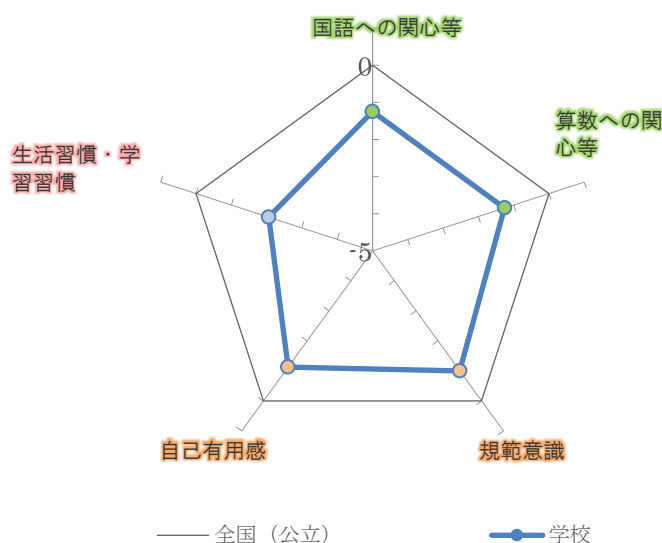
### 【特徴と現状】

- 全体の結果は、全国平均と比べ、大幅に下回っています。
- 「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」の領域すべてが、全国平均を下回っています。特に「数と計算」「図形」の領域は、全国平均を大幅に下回っています。
- 選択式、短答式、記述式の問題すべてが、全国平均を下回っています。特に、記述式の問題は、大幅に下回っています。
- データを二次元の表に分類整理する問題は、比較的よくできていました。
- 三角形の面積の求め方に対する理解に課題があります。

### 【改善方策等】

- ドリルタイムを実施し、基礎問題の確実な定着を図ります。
- 問われていることが何かを適切に判断するために必要な読む力を向上させるため、国語科の学習とあわせて、文章を読んで要点を正しく読み取る活動を行います。
- 図形や数量を日常生活と関連づけて解釈するような活動を意図的に取り入れます。
- 記述問題の課題を克服するため、日頃の授業において、どのような筋道で解いたのかを文章で表現したり、それらを互いに検討したりする活動を充実させます。
- グラフや他の資料の読み取りについて、社会科の学習と併せて読み取る力、活用する力の指導の充実を図ります。

### がくc hががくc hが（3）児童質問紙の結果及び分析



#### 【特徴と現状】

- 「生活習慣」「自己有用感」「規範意識」「国語への関心等」「算数への関心等」の項目すべてが、全国平均を下回っていました。
- 「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」という設問に対して、否定的な回答の割合が多かったです。
- 「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」という設問に対して、否定的な回答の割合が多かったです。
- 「新聞を読んでいますか」という設問に対して、「ほとんど、または、全く読まない」と回答した割合が非常に多かったです。
- 「国語の勉強は大切だと思いますか」と言う設問に対して、肯定的な回答の割合が多かったのですが、「国語の学習は好きですか」と言う設問に対しては、否定的な回答の割合が多かったです。

### 3 まとめ

全体的に学力を向上させていくことが求められています。学校においては、基礎的・基本的な学習を引き続き充実させるとともに、「思考力・表現力」の向上に努めてまいります。さらに、目的に応じて話し合ったり、文章を書いたりする活動も充実するよう、指導方法の工夫・改善に努めてまいります。そして、学習内容の定着を図るために、家庭学習の工夫・改善を図っていきます。

規則正しい生活習慣が身に付くと、精神的にも安定し、学習面でも成果が表れるという傾向があります。学校でも生活習慣の改善を図るための指導を行ってまいります。ご家庭でも『早寝、早起き、朝ご飯』の励行とともに、お子様の生活を見直し、ご協力いただければ幸いです。

児童の学力向上や適切な生活習慣の確立は、学校と家庭とが協力し合うことで達成できます。今後も保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。